



AMUSE

2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)



2021年5月14日

上場会社名 株式会社アミューズ 上場取引所 東
 コード番号 4301 URL https://www.amuse.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 中西 正樹
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 (氏名) 柏木 伸裕 TEL 03-5457-3302
 定時株主総会開催予定日 2021年6月28日 配当支払開始予定日 2021年6月29日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月29日
 決算補足説明資料作成の有無: 有
 決算説明会開催の有無: 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	39,839	△32.3	3,574	△30.7	3,320	△35.7	1,665	△44.7
2020年3月期	58,806	6.6	5,155	15.1	5,160	11.9	3,010	△32.2

(注) 包括利益 2021年3月期 3,015百万円 (△17.4%) 2020年3月期 3,649百万円 (△17.3%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	営業収入 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	95.75	—	5.1	6.6	9.0
2020年3月期	173.69	—	10.0	10.6	8.8

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 △489百万円 2020年3月期 △34百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	48,490	36,839	70.7	1,967.58
2020年3月期	52,074	34,057	60.6	1,817.62

(参考) 自己資本 2021年3月期 34,272百万円 2020年3月期 31,545百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	△272	△1,720	△229	27,148
2020年3月期	3,214	2,112	△908	29,351

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	17.50	—	17.50	35.00	620	20.2	2.0
2021年3月期	—	—	—	35.00	35.00	620	36.6	1.8
2022年3月期(予想)	—	—	—	35.00	35.00	—	37.9	—

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	—	2,520	—	2,510	—	1,610	—	92.43

(注) 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、対前期増減率は記載していません。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 一社（社名）一、除外 1社（社名）Amusequest Tokyo Tower有限責任事業組合

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期	18,623,520株	2020年3月期	18,623,520株
② 期末自己株式数	2021年3月期	1,204,664株	2020年3月期	1,268,337株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	17,395,871株	2020年3月期	17,335,171株

(注) 期末自己株式数には、「役員報酬BIP信託」及び「株式付与ESOP信託」が保有する当社株式（2021年3月期298,370株、2020年3月期362,720株）が含まれております。

また、「役員報酬BIP信託」及び「株式付与ESOP信託」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2021年3月期321,823株、2020年3月期316,239株）。

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	32,634	△27.8	2,802	△28.5	3,240	△22.2	1,489	△36.8
2020年3月期	45,210	2.8	3,918	4.9	4,164	6.1	2,357	△38.4

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	85.65	—
2020年3月期	136.01	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2021年3月期	41,096		31,797		77.4	1,825.49		
2020年3月期	41,810		29,215		69.9	1,683.40		

(参考) 自己資本 2021年3月期 31,797百万円 2020年3月期 29,215百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 6「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

1. 決算補足説明資料はT D n e t 及び当社ウェブサイト同日公開しております。
2. 当社は、2021年5月21日（金）に機関投資家・アナリスト向け決算説明会をオンラインにて開催する予定です。この説明会にて使用する決算補足説明資料は、開催後、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	5
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	5
(4) 今後の見通し	6
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	6
3. 連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 連結貸借対照表	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	9
連結損益計算書	9
連結包括利益計算書	10
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16
4. その他	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	増減	増減率 (%)
営 業 収 入	58,806	39,839	△18,966	△32.3
営 業 利 益	5,155	3,574	△1,580	△30.7
経 常 利 益	5,160	3,320	△1,839	△35.7
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,010	1,665	△1,345	△44.7

〔経済状況〕

当連結会計年度のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による経済活動の停滞、個人消費の低迷などにより、厳しい状況が続いております。また、2020年4月から5月に発出された緊急事態宣言の解除後は、外出自粛の緩和などを背景に、一時的に景気を持ち直しの動きが見られたものの、年末からは再び全国各地で感染者が増加し、再度緊急事態宣言が発出されるなど、景気の先行きは依然として不透明な状況でありました。そのため感染症による影響や金融資本市場の変動などによる影響を引き続き注視すべき状況が続いております。

〔当社グループの事業概況〕

当社グループの経営成績は営業収入398億3千9百万円（前年同期比32.3%減）、営業利益35億7千4百万円（前年同期比30.7%減）、経常利益33億2千万円（前年同期比35.7%減）、親会社株主に帰属する当期純利益16億6千5百万円（前年同期比44.7%減）となりました。

新型コロナウイルス感染症拡大と緊急事態宣言が発出されたことを受け、ライブイベントや舞台公演等の開催を自粛したことにより、前年同期に比べ、イベント収入やグッズ売上が減少いたしました。また、パッケージ販売やコマース収入などは好調だったものの、イベント出演などについても減少したことにより、営業収入・営業利益は大幅に減少いたしました。経常利益については、補助金収入はあったものの持分法投資損失の計上により減益額が増加し、親会社株主に帰属する当期純利益に関しましては、公演中止損失などの複数の特別損失の計上により大きく減益となりました。

<営業収入>

- ・ イベント収入（大型コンサートツアー）が大幅に減少
- ・ 商品売上収入（コンサート関連グッズ）が大幅に減少
- ・ 出演収入が大幅に減少

上記要因などにより減収となりました。

<営業利益>

減収要因により減益となりました。

<経常利益>

補助金収入による増益要因はありましたが、持分法投資損失の計上により減益となりました。

<親会社株主に帰属する当期純利益>

公演中止損失などの特別損失の計上により減益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、当連結会計年度より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

(営業収入)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	増減	増減率 (%)
イベント関連事業	41,839	17,765	△24,073	△57.5
音楽・映像事業	10,929	16,525	5,595	51.2
出演・CM事業	6,036	5,548	△488	△8.1
合計	58,806	39,839	△18,966	△32.3

(セグメント利益又は損失(△))

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	増減	増減率 (%)
イベント関連事業	1,844	△86	△1,930	—
音楽・映像事業	1,856	2,384	528	28.5
出演・CM事業	1,455	1,276	△178	△12.3
調整額	—	—	—	—
合計	5,155	3,574	△1,580	△30.7

【イベント関連事業】

営業収入177億6千5百万円（前年同期比57.5%減）、セグメント損失8千6百万円（前年同期は1,844百万円のセグメント利益）となり、減収減益となりました。

[主な事業]

- ・ イベント収入：＜コンサート＞

サザンオールスターズ、桑田佳祐、福山雅治、星野源、ポルノグラフィティ、Perfume、ONE OK ROCK、DEAN FUJIOKA、さくら学院などの配信ライブ
BABYMETAL、エレファントカシマシのコンサート、flumpoolのコンサートツアー
＜舞台・公演＞

地球ゴージャス「The PROM」、ミュージカル「フラッシュダンス」

Act Against Anything VOL. 1「THE VARIETY 27」

- ・ 商品売上収入：コンサートグッズ、佐藤健のアニバーサリーブック、神木隆之介のアニバーサリーブック
- ・ ファンクラブ収入：サザンオールスターズ、福山雅治、星野源、ポルノグラフィティ、Perfumeなど

<営業収入>

- ・ イベント収入の減少
(前年同期はサザンオールスターズ、SEKAI NO OWARIのコンサートツアーなど)
- ・ 商品売上収入の減少
(前年同期よりイベント収入減少に伴い関連グッズが減少)
上記要因などにより減収となりました。

<セグメント利益>

減収要因により減益となりました。

[音楽・映像事業]

営業収入165億2千5百万円（前年同期比51.2%増）、セグメント利益23億8千4百万円（前年同期比28.5%増）となり、増収増益となりました。

[主な事業]

- ・ 印税収入（新譜・旧譜）：サザンオールスターズ、福山雅治、星野源、BEGIN、ポルノグラフィティ、FLOW、ONE OK ROCK、Perfume、BABYMETALなど
- ・ レーベル収入：福山雅治のアルバムCD、ONE OK ROCKのライブBD、flumpoolのアルバムCD、BABYMETALのアルバムCD・ライブBD、THE ORAL CIGARETTESのアルバムCDなど
- ・ 番組制作収入：単発番組の制作受託など
- ・ 映像製作収入：佐藤健主演映画「ひとよ」劇場配給分配収入、イベント興行の中継及び上映収入
- ・ 映像作品販売収入：ドラマ「恋はつづくよどこまでも」、映画「マチネの終わりに」などのDVD販売収入

<営業収入>

- ・ レーベル収入（アルバムCD、シングルCD、ライブBD・DVD）が増加
- ・ 株式会社ライブ・ビューイング・ジャパンの株式を追加取得し、前第3四半期連結会計期間末より同社を連結の範囲に含めたことにより、イベント興行の中継及び上映収入が増加
- ・ 映像作品販売収入（映像パッケージ）が増加
上記要因などにより増収となりました。

<セグメント利益>

増収要因により増益となりました。

[出演・CM事業]

営業収入55億4千8百万円（前年同期比8.1%減）、セグメント利益12億7千6百万円（前年同期比12.3%減）となり、減収減益となりました。

[主な事業]

- ・ 出演収入・CM収入：桑田佳祐、福山雅治、大泉洋、安田顕、星野源、仲里依紗、吉高由里子、ホラン千秋、上野樹里、佐藤健、神木隆之介、賀来賢人、吉沢亮、三吉彩花、清原果耶など

<営業収入>

イベント開催制限等の影響に伴い出演機会が減少したことなどにより減収となりました。

<セグメント利益>

コマーシャル収入は増加しているものの出演収入の大幅な減少により減益となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

	前連結会計年度 2020年3月期	当連結会計年度 2021年3月期	増減額
総資産 (百万円)	52,074	48,490	△3,584
純資産 (百万円)	34,057	36,839	2,782
自己資本比率 (%)	60.6	70.7	10.1
1株当たり純資産 (円)	1,817.62	1,967.58	149.96

(総資産)

当連結会計年度末の総資産は484億9千万円となり、前連結会計年度末に比べ35億8千4百万円減少いたしました。主な減少要因は、投資その他の資産「投資有価証券」の増加はありましたが、流動資産「現金及び預金」並びに「受取手形及び営業未収入金」の減少によるものであります。

(負債)

当連結会計年度末の負債は116億5千万円となり、前連結会計年度末に比べ63億6千7百万円減少いたしました。主な減少要因は、流動負債「営業未払金」の減少によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産は368億3千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ27億8千2百万円増加いたしました。主な増加要因は、「親会社株主に帰属する当期純利益」の計上及び「その他有価証券評価差額金」の増加によるものであります。この結果、自己資本比率は70.7%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

(単位：百万円)

	前連結会計年度 2020年3月期	当連結会計年度 2021年3月期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,214	△272	△3,487
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,112	△1,720	△3,832
財務活動によるキャッシュ・フロー	△908	△229	678
現金及び現金同等物の期末残高	29,351	27,148	△2,202

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ22億2百万円減少し、当連結会計年度末には271億4千8百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は下記のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は2億7千2百万円（前年同期は32億1千4百万円の獲得）となりました。

これは、主に税金等調整前当期純利益及び営業債権の減少による資金増加要因を、営業債務の減少に伴う資金減少要因が上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は17億2千万円（前年同期は21億1千2百万円の獲得）となりました。

これは、主に有形固定資産の取得及び投資有価証券の取得による資金減少要因によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は2億2千9百万円（前年同期は9億8百万円の使用）となりました。

これは、主に配当金の支払による資金減少要因によるものであります。

(4) 今後の見通し

世界的な新型コロナウイルス感染症の脅威は依然として続いており、先行きの不透明な状況が続くものと見込まれます。当社グループを取り巻く事業環境においても、アーティストによるコンサート・演劇などは、感染状況に応じたイベント開催制限等の影響を大きく受ける可能性がございますが、政府・自治体のガイドラインに基づく万全な感染予防対策を講じ、お客様・アーティスト・関係スタッフの安全・安心を最優先に努めてまいります。

また、外出自粛や在宅勤務などによる生活様式の変化により、エンターテインメントの体験が多様化しております。音楽・映像等の提供形態をオンラインや新規媒体を中心とした多様なサービスに変質させ、満足度の向上を目指してまいります。また、アーティスト主体のモノづくりに加え、独自のIP開発を強化し、デジタルトランスフォーメーションの拡充によるマーケティング機能を高め、お客様のニーズにお応えするとともに収益力の向上に努めてまいります。

以上を踏まえた当社グループの次期の業績見通しは、営業収入360億円、営業利益25億2千万円、経常利益25億1千万円、親会社株主に帰属する当期純利益16億1千万円を計画しております。

(単位：百万円)

	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	翌連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	増減	増減率 (%)
営業収入	39,839	36,000	—	—
営業利益	3,574	2,520	—	—
経常利益	3,320	2,510	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,665	1,610	—	—

(注) 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の業績見通しは当該会計基準等を適用した後の金額となっており、対前期増減及び対前期増減率は記載しておりません。

※上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,867	27,661
受取手形及び営業未収入金	8,440	5,863
商品及び製品	1,801	1,514
仕掛品	1,890	1,310
原材料及び貯蔵品	182	207
その他	2,180	2,590
貸倒引当金	△528	△128
流動資産合計	43,834	39,019
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,530	1,113
土地	902	922
リース資産（純額）	43	21
その他（純額）	303	508
有形固定資産合計	2,778	2,566
無形固定資産		
のれん	132	104
その他	436	531
無形固定資産合計	569	635
投資その他の資産		
投資有価証券	2,760	4,639
繰延税金資産	749	360
その他	1,398	1,426
貸倒引当金	△16	△158
投資その他の資産合計	4,892	6,268
固定資産合計	8,240	9,470
資産合計	52,074	48,490

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	12,771	6,454
リース債務	19	7
未払法人税等	323	623
役員賞与引当金	38	20
従業員株式給付引当金	1	0
返品調整引当金	1	0
ポイント引当金	29	28
その他	3,421	2,928
流動負債合計	16,606	10,064
固定負債		
長期借入金	—	100
リース債務	32	16
役員株式給付引当金	91	65
退職給付に係る負債	1,257	1,314
その他	29	89
固定負債合計	1,411	1,585
負債合計	18,017	11,650
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,587	1,587
資本剰余金	2,249	2,239
利益剰余金	28,850	30,205
自己株式	△1,401	△1,269
株主資本合計	31,286	32,763
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	300	1,571
為替換算調整勘定	△89	△104
退職給付に係る調整累計額	47	42
その他の包括利益累計額合計	258	1,509
非支配株主持分	2,512	2,566
純資産合計	34,057	36,839
負債純資産合計	52,074	48,490

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業収入	58,806	39,839
営業原価	47,849	30,440
営業総利益	10,956	9,399
返品調整引当金戻入額	13	0
差引営業総利益	10,969	9,399
販売費及び一般管理費	5,814	5,824
営業利益	5,155	3,574
営業外収益		
受取利息	3	4
受取配当金	56	5
為替差益	—	21
受取手数料	9	3
補助金収入	—	203
その他	32	26
営業外収益合計	102	264
営業外費用		
持分法による投資損失	34	489
事業組合投資損失	—	7
為替差損	46	—
その他	16	21
営業外費用合計	97	518
経常利益	5,160	3,320
特別利益		
固定資産売却益	—	15
投資有価証券売却益	87	4
関係会社株式売却益	51	42
段階取得に係る差益	62	—
資産除去債務戻入益	100	—
特別利益合計	300	62
特別損失		
固定資産売却損	—	3
投資有価証券評価損	298	29
子会社株式評価損	—	8
関係会社株式評価損	—	92
関係会社株式売却損	—	107
契約解約損	—	124
減損損失	134	55
公演中止損失	290	280
特別損失合計	723	702
税金等調整前当期純利益	4,737	2,679
法人税、住民税及び事業税	1,237	1,078
法人税等調整額	151	△163
法人税等合計	1,389	915
当期純利益	3,348	1,764
非支配株主に帰属する当期純利益	337	99
親会社株主に帰属する当期純利益	3,010	1,665

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	3,348	1,764
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	265	1,270
為替換算調整勘定	△11	△14
退職給付に係る調整額	47	△5
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	301	1,250
包括利益	3,649	3,015
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	3,312	2,916
非支配株主に係る包括利益	336	99

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,587	2,072	26,500	△1,240	28,919
当期変動額					
剰余金の配当			△661		△661
親会社株主に帰属する当期純利益			3,010		3,010
自己株式の取得				△376	△376
自己株式の処分		265		215	481
連結子会社株式の取得による持分の増減		△87			△87
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	177	2,349	△160	2,366
当期末残高	1,587	2,249	28,850	△1,401	31,286

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘 定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	34	△77	—	△42	1,568	30,445
当期変動額						
剰余金の配当						△661
親会社株主に帰属する当期純利益						3,010
自己株式の取得						△376
自己株式の処分						481
連結子会社株式の取得による持分の増減						△87
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	265	△11	47	301	943	1,244
当期変動額合計	265	△11	47	301	943	3,611
当期末残高	300	△89	47	258	2,512	34,057

当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,587	2,249	28,850	△1,401	31,286
当期変動額					
剰余金の配当			△310		△310
親会社株主に帰属する当期純利益			1,665		1,665
自己株式の取得				△1	△1
自己株式の処分		0		133	133
連結子会社に対する持分変動に伴う資本剰余金の増減		△10			△10
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	－	△10	1,355	131	1,477
当期末残高	1,587	2,239	30,205	△1,269	32,763

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘 定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	300	△89	47	258	2,512	34,057
当期変動額						
剰余金の配当						△310
親会社株主に帰属する当期純利益						1,665
自己株式の取得						△1
自己株式の処分						133
連結子会社に対する持分変動に伴う資本剰余金の増減						△10
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,270	△14	△5	1,250	54	1,305
当期変動額合計	1,270	△14	△5	1,250	54	2,782
当期末残高	1,571	△104	42	1,509	2,566	36,839

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	4,737	2,679
減価償却費	317	581
のれん償却額	68	27
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△114	△256
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	3	△18
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	29	51
従業員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	△1	56
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△13	△0
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	34	56
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	5	4
受取利息及び受取配当金	△59	△10
持分法による投資損益 (△は益)	34	489
事業組合投資損益 (△は益)	3	7
有形固定資産売却損	2	—
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△11
投資有価証券売却損益 (△は益)	△87	△4
投資有価証券評価損益 (△は益)	298	29
関係会社株式売却損益 (△は益)	△51	64
関係会社株式評価損	—	92
子会社株式評価損	—	8
減損損失	134	55
段階取得に係る差損益 (△は益)	△62	—
資産除去債務戻入益	△100	—
営業債権の増減額 (△は増加)	△258	2,506
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△93	698
営業債務の増減額 (△は減少)	390	△6,249
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△243	△51
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	374	△93
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△58	△996
その他	106	804
小計	5,398	523
利息及び配当金の受取額	88	30
利息の支払額	△0	△0
法人税等の還付額	22	42
法人税等の支払額	△2,294	△869
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,214	△272
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△500	△500
定期預金の払戻による収入	500	500
有形固定資産の取得による支出	△408	△584
有形固定資産の売却による収入	0	171
無形固定資産の取得による支出	△150	△249
投資有価証券の取得による支出	△76	△700
投資有価証券の売却による収入	142	8
関係会社株式の取得による支出	△377	—
関係会社株式の売却による収入	37	0
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	2,870	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	4	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△92
貸付けによる支出	△54	△279
貸付金の回収による収入	39	30
関係会社出資金の払込による支出	△100	△15
その他	186	△10
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,112	△1,720
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	100
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△200	—
自己株式の取得による支出	△368	△1
自己株式の売却による収入	375	0
配当金の支払額	△661	△312
非支配株主への配当金の支払額	△42	△2
その他	△11	△13
財務活動によるキャッシュ・フロー	△908	△229
現金及び現金同等物に係る換算差額	△23	20
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,395	△2,202
現金及び現金同等物の期首残高	24,955	29,351
現金及び現金同等物の期末残高	29,351	27,148

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループはコンテンツを生み出すアーティストを発掘・育成し、彼等に様々な形での創作活動を行う機会と場所を提供し、支援することでコンテンツを創出するとともに、外部の優良なコンテンツを探し出しております。

そしてそのコンテンツをより多く保有し、有効に活用して事業展開することを基本方針としております。その事業の内容に応じて、「イベント関連事業」「音楽・映像事業」「出演・CM事業」として分類しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、当社グループの報告セグメントは、「アーティストマネージメント事業」、「メディアビジュアル事業」、「コンテンツ事業」、「プレイスマネージメント事業」の4区分としておりましたが、アーティストマネージメント事業の営業収入・営業利益がいずれも報告セグメントの合計額の80%超となっております。

従来のセグメント区分では、今後も引き続きアーティストマネージメント事業の比率が高まることが想定されることなどから、セグメント区分の見直しを検討しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、相関関係の強い事業ごとにグルーピングし、イベント等の実施及びイベント実施と相関関係の強いグッズ販売・ファンクラブ事業を中核とした「イベント関連事業」、音楽・映像などの企画、制作、販売及びそこから生じる印税を中核とした「音楽・映像事業」、テレビ・映画等への出演を中核とした「出演・CM事業」の3つの報告セグメントに変更しております。

なお、前連結会計年度のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部営業収入又は振替高は市場実勢価格に基づいております。

4. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表計 上額
	イベント関連事業	音楽・映像事業	出演・CM事業	計		
営業収入						
外部顧客への 営業収入	41,839	10,929	6,036	58,806	—	58,806
セグメント間 の内部営業収 入又は振替高	25	113	—	138	△138	—
計	41,864	11,043	6,036	58,944	△138	58,806
セグメント利益 又は損失(△)	1,844	1,856	1,455	5,155	—	5,155
その他の項目						
減価償却費	243	55	18	317	—	317

当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表計 上額
	イベント関連事業	音楽・映像事業	出演・CM事業	計		
営業収入						
外部顧客への 営業収入	17,765	16,525	5,548	39,839	—	39,839
セグメント間 の内部営業収 入又は振替高	441	144	23	609	△609	—
計	18,207	16,670	5,572	40,449	△609	39,839
セグメント利益 又は損失 (△)	△86	2,384	1,276	3,574	—	3,574
その他の項目						
減価償却費	325	188	67	581	—	581

(注) 1. 報告セグメントに帰属しない全社費用の金額は、各報告セグメントの金額に按分しております。

2. 当社グループでは、資産及び負債を報告セグメント別に配分していないため、セグメント資産及びセグメント負債の記載は省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額 (円)	1,817.62	1,967.58
1株当たり当期純利益 (円)	173.69	95.75

- (注) 1. 「1株当たり純資産額」の算定上、「役員報酬BIP信託」及び「株式付与ESOP信託」が保有する当社株式を、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております(前連結会計年度362,720株、当連結会計年度298,370株)。
2. 「1株当たり当期純利益」の算定上、「役員報酬BIP信託」及び「株式付与ESOP信託」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(前連結会計年度316,239株、当連結会計年度321,823株)。
3. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	3,010	1,665
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に 帰属する当期純利益 (百万円)	3,010	1,665
期中平均株式数 (株)	17,335,171	17,395,871

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 減損損失

前連結会計年度(2019年4月1日 至 2020年3月31日)

当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しております。

(単位:百万円)

用途	種類	会社名	場所	減損損失
その他	のれん	株式会社FRIENDS	東京都渋谷区	68
その他	のれん	株式会社COMITAS	東京都渋谷区	33
厚生施設	建物 有形固定資産(その他)	株式会社アミューズ	東京都世田谷区	26
事業用資産	有形固定資産(その他) 無形固定資産(その他)	AMUSE ENTERTAINMENT INC.	韓国 (ソウル)	2
事業用資産	建物 有形固定資産(その他)	AmuseLantis Europe S.A.S.	フランス (パリ)	3

当連結会計年度(2020年4月1日 至 2021年3月31日)

当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しております。

(単位:百万円)

用途	種類	会社名	場所	減損損失
事業用資産	建物 有形固定資産(その他)	株式会社アミューズ	東京都台東区	55